

平成26年度病害虫発生予報第10号

平成27年 1 月 6 日
愛 知 県

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
トマト (施設)	疫病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	葉かび病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
ナス (施設)	灰色かび病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	ハダニ類	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
キュウリ (施設)	べと病	やや少ない	県全域	12月下旬の発生量はやや少ない	－
	うどんこ病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	ミナミキイロ アザミウマ	やや少ない	県全域	12月下旬の発生量はやや少ない	－
イチゴ (施設)	灰色かび病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	うどんこ病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	ハダニ類	多い	県全域	12月下旬の発生量は多い	+

・防除対策

[イチゴ(施設)・ハダニ類]

12月1日発表の「平成26年度病害虫発生予察注意報第5号」を参照してください。

・留意事項

トマトでは、黄化葉巻病の発生量が多いほ場があります。発病株は伝染源となるので、見つけ次第抜き取り、適切に処分しましょう。タバココナジラミは低密度でもトマト黄化葉巻ウイルス(TYLCV)を媒介します。タバココナジラミの増殖が盛んになる前に防除を徹底しましょう。また、すすかび病が発生しているほ場があります。多湿条件下で多発するので、換気を十分に行いましょう。農薬は葉裏にもかかるように丁寧に散布しましょう。

ナスうどんこ病がやや多くなっています。例年、厳寒期に多発することはありませんが、乾燥傾向が続く場合は、注意してください。

キュウリでは、ミナミキイロアザミウマがキュウリ黄化えそ病の病原ウイルス（MY S V）を媒介するので、防除を徹底しましょう。発病株は伝染源になるので、見つけ次第抜き取って適切に処分しましょう。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台1月1日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：30% 平年並：40% 高い：30%

〔降水量〕 少ない：20% 平年並：40% 多い：40%

〔日照時間〕 少ない：40% 平年並：30% 多い：30%